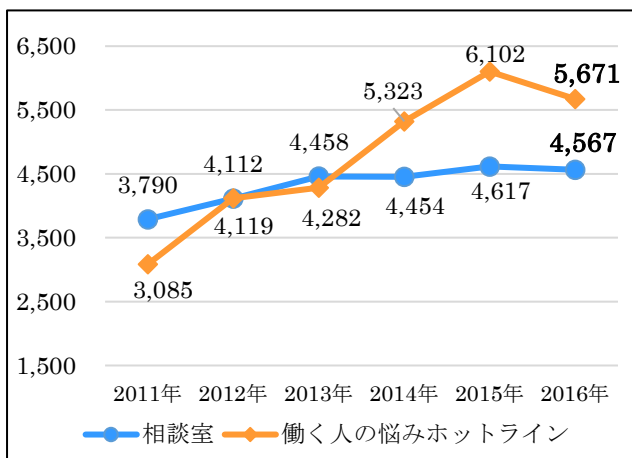


2016年度の相談件数は、2年連続で1万件超えに！
電話相談・対面相談ともに最大の悩みは「職場の問題」、
電話相談では42.1%、対面相談では31.8%

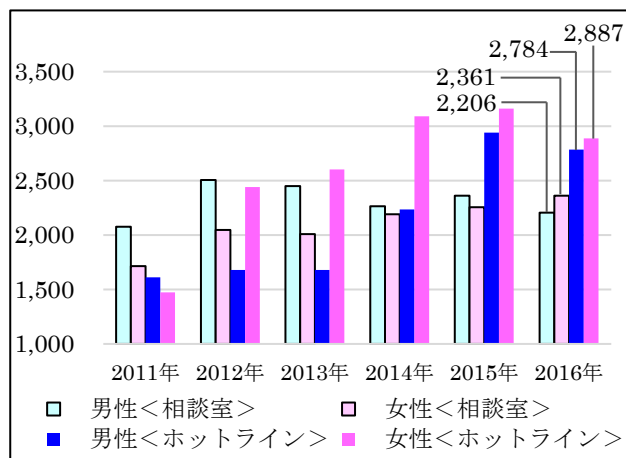
一般社団法人日本産業カウンセラー協会（代表理事：河野慶三）では、この度、2016年度（2016年4月1日から2017年3月31日までの1年間）における全国の相談室（対面相談）と無料電話相談「働く人の悩みホットライン」の統計結果をまとめました。

その結果、2016年度における対面による相談件数は、合計4,567件（男性2,206件、女性2,361件、2015年度比1.1%減）、無料電話相談「働く人の悩みホットライン」は、合計5,671件（男性2,784件、女性2,887件、2015年度比7.1%減）となりました。合計の相談件数では、昨年より418件減少したものの、総計では今年も1万件を超え10,238件となっており、以前として働く人たちの悩みが多いことが想定されます。

【利用件数の推移】

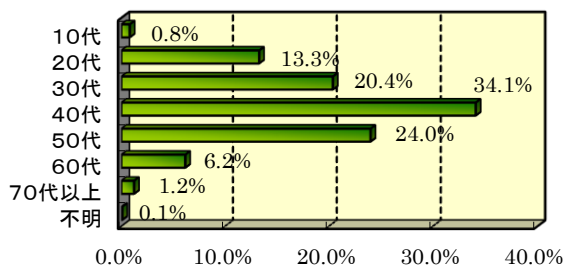


【男女別の推移】

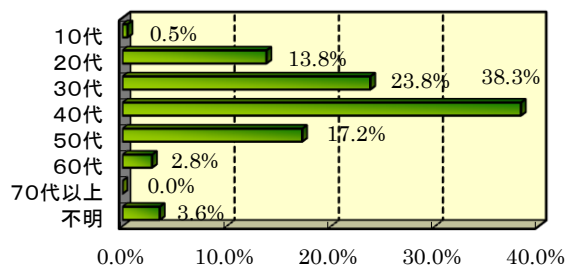


また、「対面による相談室」及び「働く人の悩みホットライン」のいずれにおいても30代～50代の企業中間管理職層にあたる年代の方々からの相談が全体の約8割を占める結果となりました。

【年代別相談室利用者比率】



【年代別「働く人の悩みホットライン」利用者比率】

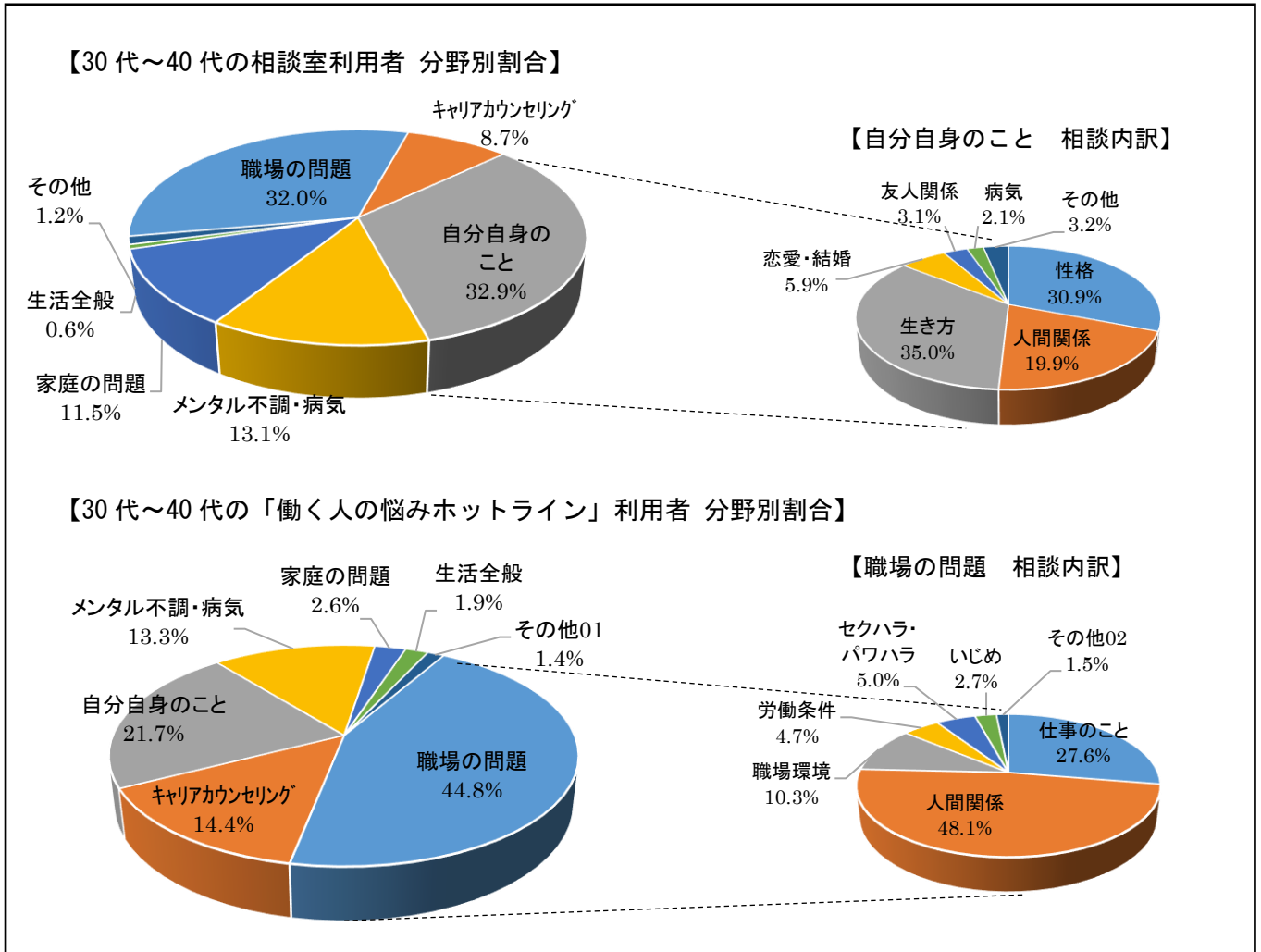


一般的に働き盛りと言われる年代でもある30代～40代の相談者からの相談内容について分野別割合を見てみると、「産業カウンセラーとの対面による相談」を利用した場合と無料電話相談「働く人の

悩みホットライン」を利用した場合で最も多い相談内容に相違が見られました。

対面による相談では、「自分自身のこと」についての相談が 32.9%と最も多く、その内訳として自分自身の「生き方」(35.0%)、「性格」(30.9%)、「人間関係」(19.9%)の順になりました。

一方、無料電話相談「働く人の悩みホットライン」では、「職場の問題」についての相談が 44.8%と最も多いという結果になり、その中でも「人間関係」が 48.1%で最も多く、2人に1人は「職場の人間関係」で悩みを抱えていることが見て取れる結果となりました。



電話相談件数は、男女ともに減少傾向

無料電話相談「働く人の悩みホットライン」を利用した相談は、合計 5,671 件（男性 2,784 件、女性 2,887 件、2015 年度比 7.1%減）という結果で、前年度に比べて男性が 5.3%減、女性が 8.7%減となりました。

分野別の相談内容では、「職場の問題」が、男性（978 件、35.1%）、女性（1,409 件、48.8%）で、もっとも多い相談となりました。この「職場の問題」に関する相談内訳を男女別で見ると、その割合は違うものの男女ともに「人間関係」に関する相談が最も多く、男性（409 件、41.8%）、女性（729 件、51.7%）という結果となりました。

また、相談室の利用に關しての男女比はほぼ同数（48.3 : 51.7）でした。一方、無料電話相談「働く人の悩みホットライン」の利用に關する男女比は、これまではおおよそ 4 : 6 の割合で女性からの相談が多く寄せられていました。

昨年、男性の相談者数が大幅に伸長しましたが、今年度はさらに男性からの相談割合が増加し、男女比が（49.1 : 50.9）まで縮まっており、電話による相談について性別差はなくなってきています。

「働く人の悩みホットライン」利用者の分野別相談件数

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		不明		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
職場の問題	10	1	160	237	234	389	423	529	116	224	20	12	0	0	15	17	978	1,409
キャリアカウンセリング	5	5	132	101	110	116	121	159	27	48	13	4	0	0	11	4	419	437
自分自身のこと	3	1	39	41	172	113	264	215	141	116	63	12	0	0	22	28	704	526
メンタル不調・病気	0	0	20	34	83	60	249	77	97	68	1	4	0	0	3	6	453	249
家庭の問題	3	0	5	9	6	24	28	32	7	67	1	17	0	0	0	5	50	154
生活全般	0	0	0	2	7	4	40	15	40	18	10	2	0	0	3	4	100	45
その他	0	0	2	1	17	12	11	9	7	1	2	0	0	0	41	44	80	67
	21	7	358	425	629	718	1,136	1,036	435	542	110	51	0	0	95	108	2,784	2,887

「働く人の悩みホットライン」利用者の「職場の問題」相談内訳

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		不明		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
仕事のこと	3	0	71	69	96	76	145	118	31	45	3	0	0	0	6	5	355	313
人間関係	4	1	61	115	91	201	190	276	49	120	9	9	0	0	5	7	409	729
職場環境	2	0	12	17	18	34	51	59	19	17	1	0	0	0	2	2	105	129
労働条件	0	0	5	8	12	29	16	17	6	14	3	1	0	0	1	1	43	70
セクハラ・パワハラ	0	0	4	20	9	25	10	35	8	12	3	2	0	0	0	2	34	96
いじめ	1	0	4	5	5	20	4	14	1	12	0	0	0	0	0	0	15	51
その他	0	0	3	3	3	4	7	10	2	4	1	0	0	0	1	0	17	21
	10	1	160	237	234	389	423	529	116	224	20	12	0	0	15	17	978	1,409

相談内容の実数ならびにその比率など、本統計結果の詳細については、別添の参考資料をご参照ください。また、統計データの詳細については、一般社団法人日本産業カウンセラー協会ホームページをご参照ください。

URL : <http://www.counselor.or.jp/press/tabid/205/Default.aspx>

一般社団法人日本産業カウンセラー協会は、産業カウンセラーの養成、企業・団体向けの研修・相談、個人向けの電話相談などの活動を行っている団体で、全国37ヶ所（札幌、青森、仙台、盛岡、高崎、新潟、長野、さいたま、宇都宮、柏、千葉、ひたちなか、渋谷、立川、甲府、横浜、名古屋、静岡、津、金沢、大阪、京都、神戸、岡山、広島、松江、松山、高松、高知、徳島、福岡、北九州、宮崎、鹿児島、長崎、熊本、浦添）でカウンセリングを提供する相談室を設けています。また、2004年から、無料電話相談「働く人の悩みホットライン」（03-5772-2183、月～土、15：00～20：00）を通年開設しています。

<本リリースの内容に関するお問い合わせ>

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 事業推進部 清水、丸山

〒105-0004 東京都港区新橋6-17-17 御成門センタービル6階

TEL:03-3438-4568 FAX:03-3438-4487 e-mail:suisin@counselor.or.jp